

野口遵記念館建設 基本設計(案)に係る意見一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応
1	1	平面計画	当初のプロポーザル案には、3階に多目的室が計画されていたと思います。今回の計画図には、多目的室に関して記載がありません。図面ではそれらしき部屋が二階にあるように見えますが、どうなっていますか？	当初のプロポーザル案では、多目的室は3階に計画されていましたが、基本設計を進める中で、座席の配置計画や、平面計画を詳細に進めた結果、2階席後方の北側と南側の2箇所に整備を行うこととしました。この多目的室は、小さなお子様を連れられたお客様が、周りに気兼ねしなくてもよいように、防音構造になっており、一方、劇場内の音響については、室内に設置したスピーカーから聞こえるようになっています。なお、この部屋は車いすの方も利用できるようになっています。公表した図面に、室名の記載が漏れており、失礼いたしました。
	2	既存施設	基本計画とは異なりますが、現在の野口記念館に展示されていた銅版画等の展示物や今となっては珍しい映写機等は今後どの様になるのでしょうか？	野口記念館に飾られていた、小学生製作の版画・銅版画については、製作していただいた、南方小学校及び恒富小学校へ返却し、学校内にて飾っていただくことになりました。絵画と書道作品については、文化センターにて展示を継続します。また、映写機については、市の方で一時的に保管し、野口遵記念館にて屋内外を含め展示が可能か、現在検討を進めているところです。その他の緞帳、スポットライト等の設備・備品についても、同様に一時保管を行い、活用について検討しています。
2	3	平面計画	1. 楽屋廊下の延長 課題：大人数の出演者の場合に楽屋又は、直前リハーサルに「フリースペース」「練習室」を利用すると思う。（保育園・幼稚園・学校・など） 対策：その人達と観客を分けるために、野口遵像の位置まで、廊下を延長してほしい。扉をつける？	練習室及びフリースペースから舞台への動線は、練習室は楽屋寄りの出入口を、フリースペースは楽屋廊下側出入口を計画をしています。扉については、設置することとしており、運用面や構造的な制約から、現在の位置としておりますが、これによって、演者と一般来場者の区画を分けることは、可能であると考えております。
	4	平面計画	2. 搬入口のトラックの荷台高さフロア高さ 1 tトラックが搬入できる設計は、理解できた。 課題：小型・中型トラックの荷台では、重い荷物を持ち上げることにならないか。 対策：小型・中型トラックの車輪にスロープを作り、必要な時に使用する。トラックの荷台とフロアに渡し板を作る。	小型・中型トラックからの搬入方法については、スムーズに搬入を行えるように、ご意見に頂いたような方法も含め、引き続き検討させていただきます。
	5	平面計画	3. 3階テラスの配置 課題：西日本マラソンのスタート・ゴールの観戦をするためには、良い場所なのですが、市役所の低層棟に視野がかかって見ることができないと思う。 対策：野口遵通りの南上部にスペースを延長してほしい。西日本マラソンの観戦用にホールを開放する。	現在の計画では、スタート・ゴール地点は見えにくいものとなっておりますので、3階テラスの延長については、その効果も含め検討します。また、観戦用にホールを開放することについては、施設の運用の中で、あわせて検討します。
	6	施設配置計画	4. 現在の滝・池のエリヤには、八重咲のつつじ・椿など貴重な樹木がある。滝と池は残すとなっているが、樹木の移植を考えていないのか	滝周辺の樹木で移植が可能なものについては、記念館の敷地内や城山周辺などへの移植を検討しています。
3	7	平面計画	高齢者や身障者への配慮は考えられていらっしゃるようですが、小さな子供達への配慮があまり感じられませんでしたので、要望させていただきまます。乳幼児程、耳も敏感で、幼い頃から本物の演奏等を見聞かすと、素晴らしい感性が育つと言われておりますので、是非、幼い子供と保護者が一緒に、演奏や演劇等様々な催しを鑑賞できる鑑賞室を設けていただきたいです。全国には、ずいぶん昔から何か所も例がございますので、ご検討ください。最上階に防音ガラス張り、赤ちゃんが泣いても周りの迷惑にならずに、幼児達が、自由に走りまわりながら、素晴らしい芸術に触れられ、保護者も子供と一緒に楽しめるフラットな空間のキッズルームが出来たら素敵ではありませんか？	2階席後方の北側と南側の2箇所に多目的室を計画しています。この多目的室は、小さなお子様を連れられたお客様が、周りに気兼ねしなくてもよいように、防音構造になっており、一方、劇場内の音響については、室内に設置したスピーカーから聞こえるようになっています。なお、この部屋は車いすの方も利用できるようになっています。公表した図面に、室名の記載が漏れており、失礼いたしました。
4	8	平面計画	この度、延岡市の野口記念館の新設にあたり二点の要望をいたします。障がい者トイレの設置がされると思われませんが、そのトイレに介護用ベッド（多機能ベッド）の設置をお願い致します。多くの人々が利用する公共の施設に、障がい者トイレ表示があるトイレはありますが、ほとんどの障がい者トイレに介護用のベッド（多機能ベッド）の設置がなく、オムツ交換が出来ず大変困っております。各市町村で色々な催しがあり子供と一緒に鑑賞したり、参加したいと思っても、一番に考えるのはトイレのこと。重度心身障がい児（者）を家族に抱える家庭では日常の買い物などの外出ですら大変な苦勞をしております。この度、新設される野口記念館には是非とも赤ちゃんから高齢者、障がい者と広く利用できるトイレの設置をお願い致します。また、館内の設備につきましても車椅子、障がい者バギーで利用できるよう、ホール内、エントランス、ロビーなどバリアフリー化をお願いいたします。誰もが利用できる優しく心地いい空間・・・多くの人々が集える街のシンボルとなることを願っております。次の事項について要望致します。	野口遵記念館は、ユニバーサルデザインの先進的なモデル施設になるように、整備したいと考えており、すべての利用者が、安全にかつ安心して、快適に施設利用が出来るように設計を進めており、介護用ベッドにつきましても、多目的トイレ内に設置する方向で検討しています。また、館内は、駐車場から舞台まで、また観覧席までの動線を、すべて段差なく移動が出来るようにしています。
	9	平面計画	①新設される野口記念館の障がい者トイレに介護用ベット（多機能ベッド）の設置 ②館内のバリアフリー化（ホール内、エントランス、ロビーなど）	
5	10	平面計画	施設の特長や平面図等を見て、よく考えられていて大変楽しみになりましたが、練習室の位置と構造が気になります。練習室は、音楽だと相当な音が発生しますし、また一般的に練習段階はあまり人に見せられないものではないかと思われまますので、南入口のフリースペースの近くに配置されていること、またガラス張りの構造が気になります。よく利用される方々の意見を聞かれたのでしょうか。	フリースペース・練習室につきましては、小規模の公演やリハーサル、大楽屋、練習室等としてのほか、学会や各種会議、展示会場、学習スペース等、様々なイベントや活動に多目的に利用可能な空間として計画しました。各部屋は、2重サッシにすることで遮音性能を確保しており、また、各部屋とも完全暗転になるよう、カーテンまたはロールスクリーンを設置を検討中であり、外部から見られたくない練習や会議等については、プライバシーが保たれるよう、計画しています。なお、基本設計につきましては、これまで4回開催したワークショップをはじめ、シンポジウムや市民説明会、また、今回の意見募集等において、広く市民の皆さんのご意見をお聴きしながら進めてきております。
	11	施設配置計画	現在の建設場所では駐車場の確保というのも大事な点だと思います。全体配置図を見ると、約280台の駐車スペースを確保するために、現在市職員の駐車場になっているところも今後はこの記念館の駐車場になるようですが、これで間違いないのでしょうか。この点については、私も常々思っていたことで、市職員の駐車場の所はこの記念館の利用者のために開放すべきだと思います。よろしく願いいたします。	野口遵記念館は、市民の皆さんに気軽に立ち寄っていただく施設としていることから、一定数の駐車場区画の確保が必要であると考えております。また、周辺には、市役所をはじめとして、本市の歴史文化ゾーンを形作る様々な施設が配置されておりますので、利用者の利便性向上のため、このエリア全体の駐車場の在り方や運用方法について、検討を進めているところです。
	12	運用方法	野口遵記念館の完成後の管理運営についてですが、基本設計のコンセプトで施設管理のコスト縮減が一つの視点にあげられています。おそらく今後の管理は、人件費の節減等の観点から、これまでのように文化センターと一体的に管理されるのではないかと考えています。今後の野口遵記念館の運営については、新たに経費は生じますが、次の2点はぜひ改善して欲しいと思います。 ・これまでのようにイベントがある時だけの開館ではなく、休館日等以外は通常通り開館してほしい。 ・この記念館の使用申込はもとより、文化センターの申込みについても、遠い文化センターに行かなくてもこの記念館で手続きが出来るようにして欲しい。	野口遵記念館は、ホール利用のみならず、市民の皆さんが様々なイベントや活動に日常的に使っていただける施設として、整備を行うこととしております。まちなかの賑わい創出を意識しながら、ホール利用が無い日の施設運用について、費用対効果も含め、様々な観点から検討いたします。また、施設の使用方法等についても、利用者にとってどのような方法が使い勝手が良いのか、検討いたします。
13	運用方法			

野口遵記念館建設 基本設計（案）に係る意見一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応
6	14	平面計画	<p>基本設計コンセプトにつきましては、大変素晴らしい内容と思われます。ホールにつきましては、設計会社様の優秀さ、技術力の高さを感じ完成が待ち遠しく、ワクワクの気持ちになります。</p> <p>市民及び老人、子供から見て下記にあります、賑わいについて、アイデアを記してみたいと思います。</p> <p>4. 施設の特徴【いつも賑わう施設をつくる仕掛け】<u>通り抜けとたまり場</u></p> <p>5. 諸室等の概要 ○野口 遵どおり・<u>ごかせどおり</u>・<u>おおせどおり</u>（玄関ロビー、廊下部分）</p> <p>南北と東西方向へのアクセスなど、又たまり場など賑わいを生む通りになると思います。</p> <p>水郷延岡にふさわしい、【おおせどおり】と【ごかせどおり】には、幅（約20cm）深さ（約10cm）の川を通りの真ん中に通していただき（強化アクリルの構造では？）、中にはハヤなどの川魚を泳がせていただくと市民、子供の賑わう通りになるのでは、と思います。</p> <p>単純に賑わいの創出だけでなく、中にLEDの照明を入れることにより避難口を示す、導線の役割を果たします。</p> <p>万が一の火災など上の方は煙で見えませんが、足元のLEDの流れる方向が出口の場合、非常に分かり易いと思われます。検討いただけたら在りがたいことです。</p>	<p>野口遵記念館は、市民の皆さんが気軽に訪れていただくことにより、まちなかの賑わい創出にも繋がる施設になると考えております。</p> <p>おおせ・ごかせどおりの名にちなんで、川魚を泳がせる水路を設置するというご意見につきましては、一つのご提案だと思っておりますが、やはり、水槽や水の循環設備など特殊な設備が必要なこと、生き物の管理を含め、設備を安全に維持管理することなど、建物の構造面や管理面に關する課題が多く、設置は困難であると考えております。</p> <p>また、ご指摘のLED照明による、避難誘導につきましては、分かり易い表示となるよう、工夫したいと考えております。</p> <p>なお、記念館東側に、景観として定着した「むかばきの滝」には、たくさんの鯉が泳ぎ、市民の皆さんに親しまれておりますが、こちらについては、建物とより一層調和するように、今回改修を行いたいと考えています。</p>
7	15	外観計画	<p>野口遵記念館の基本設計の概要が明らかになり、ワークショップ1～ワークショップ4までの市民の声が、100%ではありませんが、ほぼ取り入れられた設計が成されていることに、とても嬉しく感謝しております。ありがとうございました。ところで、宮日新聞の7月24日付の会館のイメージ図が掲載されておりました。その件でカラーコーディネーターの立場から、参考にしていただければと思い、意見を何点か書かせていただきます。</p> <p>・全体としてのカラー（記念館を中心として考えますと）</p> <p>南：緑色（城山） 東 灰色（市庁舎） 北：灰色（九州電力・川・黒木病院）青色</p> <p>西：青色（駐車場と空）</p> <p>・記念館の色</p> <p>南：白と黒 東：茶と黒とガラス透明 北：白と黒？ 西：青と灰色（ブロック・RCの色）</p> <p>記念館の色は、建物として、環境と建物の中身のストーリーを考えた場合、黒色が多く使われているため、自然と空間が生きていない様に考えられます。</p> <p>南側の城山の木々の緑が生き生きと、そして記念館も自然を生かす役割をかもし出すには「白色が」と考えます。</p> <p>東側の立派な市庁舎の城に似せたモダンさを生き生きと見せるにはガラスの透明感を活かした「白色が」と考えます。</p> <p>北側は、高速からの入口ともいえる第2の玄関で目立つ側面です。慎重にデザインとカラーを考えたほうが、30年先50年先飽きない北側面であって欲しいと願います。</p> <p>西側を、カラー判断すると延岡のキャッチフレーズ「青い空青い海」の言葉が、黒いラインで青い空をカットしており、青色が黒色で生きていません。やはりキャッチフレーズの青い空は生かされるべきだと考えます。</p> <p>全体的に「野口遵記念館」は白色に統一した建物であって欲しいと願います。</p>	<p>野口遵記念館の外観の色につきましては、周辺の景観に馴染むことや、建物の性格にふさわしい色であることなど、様々な視点から検討する必要がありますと考えております。</p> <p>ご指摘のように、周りの風景の色彩との調和を十分考慮し、また、外観イメージ図も角度を変えて作成するなど、さらにシミュレーションを重ねながら、色の選定を行いたいと思います。</p>